

## 今月の御教え

山にも種々の物ができ、川にもいろいろうの魚がいる。海にも種々の魚がいる。これを漁師が取って商人が売買し、だれでも好きな物を買い求めて食べ、体を丈夫にして世の中のために働くように神がお守りくださされている。なんでも世の中の実物に当たって考えれば、しだいにありがたいことがわかる。四季に応じて、毎年、人間が楽しみに待っている物が出来る。それを買い求めて食べ、体を丈夫にしていたただけるのである。四季の変わり方は人の力では自由にならない。

……「天地は語る」第二十五条……

## 解説

「毎年、四季に応じて、山野には種々の物ができ、海や川にもいろいろうの魚が来る。それを私達人間は、楽しみに待って、買い求めて食べることが出来、尚も、それが血肉となり、体が丈夫になり夫々の生業に勤しむことが出来る」との教祖様のお言葉ですが、人間の営み、喜びは昔も今も変わらないことが知れ、温かい気持ちにならされます。

そうして、こうした営みが出来るのは、天地の親神様のお働きがあつてのことと、分からせて頂きお礼申さなければなりません。四季の移り変わり一つとっても、人間の力ではどうしようもないことなのですから……。そうして、私達に「体を丈夫にして世の中のために働いてくれよ」と願って下さっているのです。

今年、初代大先生六十年の御年柄、大先生の「天地の道理に基づき生きられ方」をわが身に頂き喜んで頂けるよう信心の稽古に取り組ませて頂きましょう。